

関東地区

キリスト教大学の目指すべきグローバル化

地区大学部会研究集会

去る3月26日、青山学...

院大学を会場に9大学...

キリスト教大学の目指...

開会礼拝では、山口博...

識、異文化間能力を含...



新任教職員のみなさんへ

キリスト教学校教育同盟とは？

訴えられた。質疑応答も活発に行われ、山田耕太氏(敬和学...

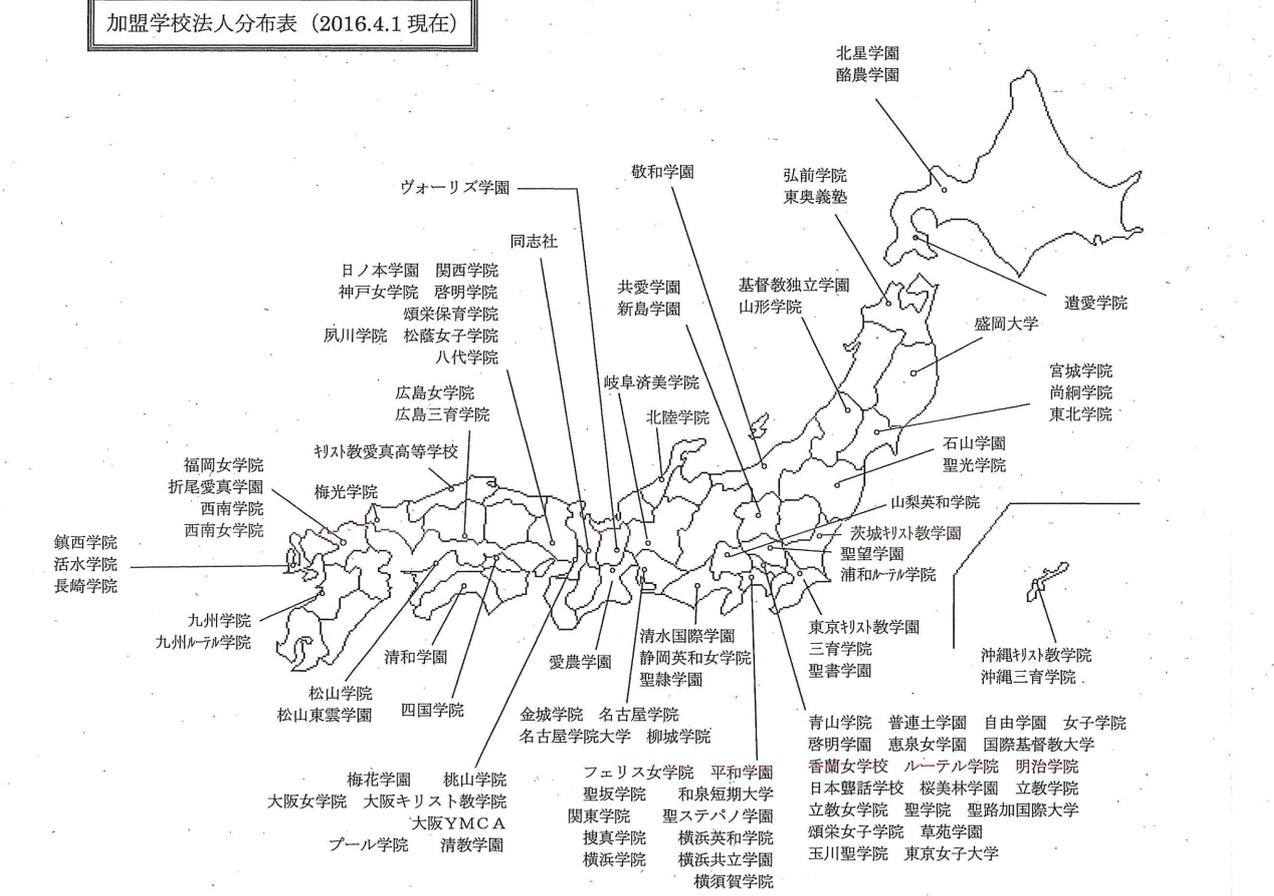
された多くの有力な示唆を出発しました。

このようにして設立したキリスト教学校教育同盟...

2014年10月15日付キリスト教学校教育同盟...

しかし、1800(明治12)年に築かれた文部省訓令第103号は...

加盟学校法人分布表 (2016.4.1 現在)



金城学院高等学校 地塩館竣工

本校は、今から127年前、名古屋の近く、尾張藩の地塩館が2015年5月17日に完成しました。今回はその地塩館ランドルフによって創立されている地塩館について簡単に紹介させていただきます。



聖句から名づけられた4年前、名古屋の近く、尾張藩の地塩館が2015年5月17日に完成しました。今回はその地塩館ランドルフによって創立されている地塩館について簡単に紹介させていただきます。

ブラウン親子 この母ありてこの子あり 東京神学大学

19

女性執事フエベ(ローマの信徒への手紙16章1-2節)にちなんでつけられた名前を持つ女性にフエベ・ブラウン(Phoebe Hirsdale Brown)がいた。貧しい教育を受けられず、読み書きもできずに石臼として働いた。それでも鳥の羽を拾ってペンにし、カエデの木の汁をインクに代用し、夜は使い残しの口ウソクを集めて勉強し、詩人として世に認められるに至った。彼女の作った讃美歌が1954年版「讃美歌」310番である「讃美歌21」には採録され、もう一つの「讃美歌」307番も曲のみ「讃美歌21」540番で結核した彼女は祈った。「もし男の子が生まれたら、外国伝道者になりますから、子供をお授けください」。生まれた子がサムエル・ブラウン(Samuel Robins Brown)である。ランドルフ派宣教師チャールズ・ブラウンとは別人。サムエル・R・ブラウン(1810-1880年)は、その母の祈りのもとで改革派の宣教師になった。中国のマカオに赴くが、



サムエル・ブラウン

やがて日本伝道を志す。聖書の日本語訳原稿を火事で焼失するなどの試練を乗り越え、聖書翻訳事業を完成させた。彼のもう一つの夢が、本格的な神学教育機関の設立であった。キリスト教伝道を推進するにはミッションナリ―の力だけでは十分である。ぜひ「この国の青年たちをひきつけようよ、十分な教育をほどこす神学校がなければなりません」。その思いの源流が現在の東京神学大学に流れ着いている。

東京神学大学学長 芳賀 力

れ玄関ホールに壁には第6代校長エラ・ヒューストンの生徒一人一人を送り出す際に、その肩に手を置き語りかけた「You must have dignity」の言葉が刻まれています。本校は、地塩館と世光館が神の栄光をほめたたえ礼拝する栄光館(2階に礼拝堂、1階にキリスト教センター、生徒会室等を内包)、生徒会室というキャンパスに姿を現しました。まさに、その名が示す如く、神を礼拝し、生きる土台をキリストに置く教育を行い、地の塩、世の光として生徒を送り出す学校であることを世に表明するキャンパスになりました。その中で、神から委託された生徒たちをどのように育てるか、校舎が完成した今、校舎に込められた名前からも教育に関わる私たちが、「その名の

運りにする」という責任を強く感じています。整備されたキャンパスに恥じない教育を行っていくことを教職員が一つ所に集まり、神に祈りながら誓いを新たにしているところです。 深田昌一(金城学院中学校・高等学校校長)

公募

- ※採用予定日はいずれも17年4月1日です。
- ▽東北学院大学
- ▽工学部環境建設工学科
- 職種Ⅱ環境水理学分野
- 准教授又は講師名を応募締切10月10日
- 問合せ先022-881-4719
- ▽立教池袋中学校・高等学校
- 職種Ⅰ英語科専任教諭1名
- 応募締切10月27日
- 問合せ先03-3985-7793
- ▽同志社女子中学校・高等学校
- 職種Ⅰ理科(化学)専任教員、専任養護教諭各1名
- 応募締切10月10日
- 問合せ先0292-823-9217

事務局より

卯月となり、4日、清明です。清明とは清浄明潔の略で、心身を清く正しく、わたくしたちもまた、変えるものと変えてはならないものを見極めて、新たな歩みをしたいものです。清明こそこの頃の我が丘、万物落して清浄明潔なわたしたちは変わらねば

福島 旭 (関西学院中学部宗教主事)

Q 神はどのような方なのですか？

A 「〇〇のカミ」、休み時間の生徒たちの何気ない会話で気にかかる言い回しが聞こえてきます。生徒たちはある分野で特別な才能や技術を持っている人のことを「〇〇のカミ」などと安易に称しているようです。「スゴイ人=カミ」という公式があるのか。「神業」とか「神がかり」といった表現が由来しているのでしょうか。真相はわかりませんが、「〇〇の神様」という敬称は昔から日常化しています。日本に浸透している宗教観の一つに、「偉人⇒超人⇒神」というように人間が「神」と祀られていく図式があると言われますが、それが無意識的に現れているのかもしれない。

ラテン語の"Deus"や英語の"God"が日本語に翻訳される際、「大日」「天主」「天神」「天帝」「上帝」などの候補を差し置いて「神(最初はシンと読まれた)」との訳が定着していきました。訳が固定されることで、それまで使われていた「神」に対する感覚と元来、聖書に描かれている「神」との混同が生じたことは容易に想像できます。

では、聖書に登場する神はどのような方として描かれているのでしょうか。まず、聖書の冒頭の創世記で、神は形を持たない混沌(カオス)に秩序(コスモス)を与え、人間を始め万物を創造した方として登場します。そして、歴史を通して、愛であり、正義である神が人間にかかわりを持つこととする約束を人間がどう受け止めたかが繰り返し描かれます。その約束の成就として神がイエス・キリストという救い主となり、実在としての生き様を示されたと伝えていきます。「人間⇒神」、つまり人間が努力して神に近づき、神と同化するという方向は聖書には出てきません。それとは逆の「神⇒人間」、すなわち神が「自分を無にして」(フィリピ2:7)人間の姿となり、十字架の死と復活に至るまでこの世で共に生きてくださった出来事がすべての人間にとっての罪と死からの救いとなったと告げているのです。

聖書が告げる神は私たちにいのちを与えられ、守り、愛してくださる「いつもいつまでも共にいます」存在であり、人間の人格に直接にかかわりを持ち、特に人間の現実にも痛み、苦しめる方であり、使命という形で人間に生きる意味を示される方である私は受け止めています。私たちがキリスト教学校での生活を通して、「いかに生きるか」と自分で問う時の指標として、聖書に記される神と出会うことは何かのヒントになるに違いないと思っています。

6/10、11	第104回定時総会(西南学院)
18	第61回東日本小中学校教職員協議会(横須賀学院小学校)
7/23-25	第60回事務職員夏季学校(東山荘)
8/9-11	第3回中堅教員リトリート(同志社むかわコトリートセンター)
25、26	第6回中堅事務職員研修会(神戸女学院)
26、27	第3回大学新任教員研修会(東京ガーデンパレス)
9/1、2	第60回大学部会研究集会(福岡女学院大学)
12	第3回東北・北海道地区新任教師研修会(盛岡学院)
9/30、10/1	キリスト教活動担当会議(飯山学院)
10/31、11/1	第58回中高研究集会(捜真学院)
11/5	キリスト教学校教育懇談会第14回講演会(上智大学)
11、12	第58回学校代表者協議会(高山学院)
17、18	第11回全国聖書科研究集会(同志社国際中学校・高等学校)